

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	結腸癌・直腸癌治療における一時的回腸人工肛門閉鎖術後の腹壁癒痕ヘルニア発生と人工肛門造設部位に関する検討		
1. 研究の目的と方法	結腸癌・直腸癌の手術の際に一時的に人工肛門を造設することがあります。その人工肛門を閉鎖後の合併症として、腹壁癒痕ヘルニア*がありますが、腹壁癒痕ヘルニアと人工肛門造設部位（右下腹部または臍部）の違いによる発生率とその発生原因については不明な点が多くあります。その関係性を明らかにするために東京慈恵会医科大学附属病院外科学講座の症例を用いて検討を行います。 (腹壁癒痕ヘルニア*：手術の傷がもとで、内臓が皮膚の下に脱出すること)		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月1日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院にて、2008年1月1日から2018年12月31日の11年間で、結腸癌・直腸癌に対して、結腸または直腸切除術（開腹または鏡視下）と一時的回腸人工肛門造設術（右下腹部または臍部）を施工し、その後人工肛門閉鎖術を受けられた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、身長、体重、BMI、検査結果（血液検査、画像検査）、手術時所見（術式、出血量、手術時間、病理検体所見）、術後経過（合併症の有無、入院日数、退院後の経過）、麻酔所見（全身状態）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	衛藤 謙
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2019年3月頃～
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：教授 衛藤 謙（えとう けん） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。